



中小企業景況レポート

No.13 中栄信用金庫 地域支援部

平成26年10月～12月実績と平成27年1月～3月見込み

◆調査概要

調査時期 平成26年12月上旬
調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
調査企業数 331社
回答企業数 321社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	92	87	94.5
卸売業	23	23	100.0
小売・飲食業	67	64	95.5
サービス業	49	48	97.9
建設業	59	59	100.0
不動産業	41	40	97.5
合計	331	321	96.9

◆10月～12月期の概況

～季節的要因もあるが2期連続の業況改善～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断D.I.は▲4.4を示し、前回調査（平成26年7月～9月期）に比べ6.9ポイントの改善となりました。今回調査は、年末に向けた需要拡大期に当たるため、例年、業況判断は改善される傾向にあるものの、今期は、消費増税による反動減の緩和や円安を背景にした輸出関連産業における業況改善、大手企業の冬季ボーナス増加による個人消費押し上げ効果などから業況判断は2期連続の改善となりました。政府主導によるリフレ政策の効果を判断するには時期尚早ではあるが、幅広い業種で業況回復の兆しが見受けられる結果となっており、衆議院選挙の結果を受けた次回の調査が注視されます。

項目別にみると、売上実績D.I.は前回調査比15.4ポイント改善の11.1、収益実績D.I.も前回調査比15.8ポイント改善の4.7と売上・収益ともに4期ぶりにプラス域への回復となっております。また、仕入価格D.I.は横ばいの36.6、人手不足については、2.4ポイント不足感が強まり▲26.7となっており、資金繰りは4.1ポイント改善の▲12.4と調査開始（平成23年9月）以降、最も改善された値となっております。

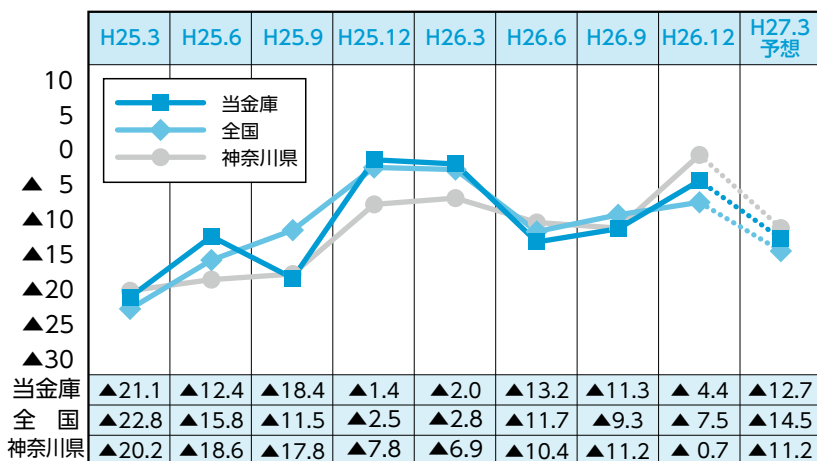
また、業種別の景況感では、小売・飲食業が19.7ポイント改善の▲20.3、不動産業が16.9ポイント改善の▲7.5、製造業が5.6ポイント改善の1.2、卸売業が4.3ポイント改善の4.3、建設業が3.8ポイント悪化の15.2、サービス業が2.1ポイント悪化の▲18.4となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断D.I.は、前回調査から1.8ポイント改善の▲7.5、神奈川県内は、10.5ポイント改善の▲0.7となっております。（全国と神奈川県のD.I.値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆1月～3月期の見通し

来期の業況判断予想は8.3ポイント悪化の▲12.7、売上額D.I.は15.5ポイント悪化の▲4.4、収益D.I.は14.0ポイント悪化の▲9.3の予想となり、業種別では、6業種全て悪化の見込みとなっております。

業況判断D.I.値（全業種）



全国、神奈川県の業況判断D.I.値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約16,000（うち神奈川県約480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I.値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前 期	今 期	予 想
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小売・飲食業			
サービス業			
建 設 業			
不 動 産 業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
良い 悪い

製造業

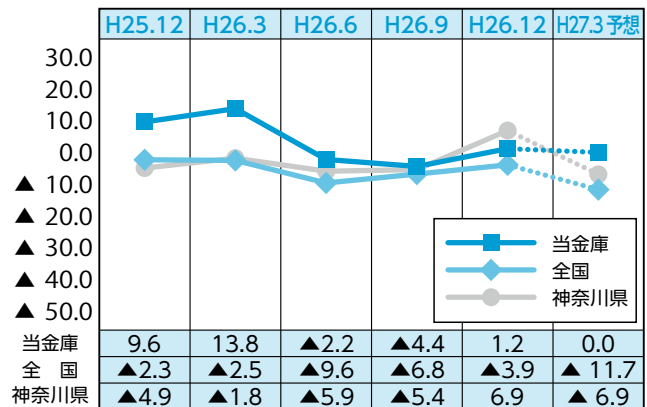
概況

製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 5.6 ポイント改善の 1.2 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は 6.9 ポイント改善の 9.2、収益 D.I. は 18.1 ポイント改善の 8.0 となっております。鉱工業生産指数（26 年 10 月値）で示されたように生産の下げ止まりや出荷額上昇等、円安を背景に輸出関連企業を中心とした受注増加が見られ、この地域においても業況判断は回復しております。しかしながら、原材料価格の上昇や電力料金、人件費等コスト上昇要因は根強く、設備の新・増設を実施している企業は 1 割強と低水準であることから、設備投資を促進するような自発的回復には至っていないものと思われます。なお、全国は 2.9 ポイント改善の▲3.9 となっており、神奈川県は 12.3 ポイント改善の 6.9 となっております。

来期の予想業況判断については、1.2 ポイント悪化の 0.0 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	29.2	43.9	26.9	D.I. 2.3
当期実績	35.6	38.0	26.4	9.2
来期予想	27.5	47.3	25.2	2.3
前年同期比	37.9	34.6	27.5	10.4

販売価格

前期実績	10.1	82.1	7.8	D.I. 2.3
当期実績	6.8	91.0	2.2	4.6
来期予想	5.7	87.5	6.8	▲1.1

在庫

前期実績	5.6	91.0	3.4	D.I. 2.2
当期実績	6.8	87.5	5.7	1.1
来期予想	3.4	90.9	5.7	▲2.3

人手

前期実績	12.3	59.7	28.0	D.I. ▲15.7
当期実績	8.1	57.1	34.8	▲26.7
来期予想	10.4	59.4	30.2	▲19.8

収益

前期実績	21.3	47.3	31.4	D.I. ▲10.1
当期実績	29.8	48.4	21.8	8.0
来期予想	21.8	50.7	27.5	▲5.7
前年同期比	29.8	38.1	32.1	▲2.3

原材料価格

前期実績	38.6	58.0	3.4	D.I. 35.2
当期実績	41.3	57.6	1.1	40.2
来期予想	29.8	69.1	1.1	28.7

資金繰り

前期実績	15.7	63.0	21.3	D.I. ▲5.6
当期実績	19.5	61.0	19.5	0.0
来期予想	13.7	68.0	18.3	▲4.6

設備状況

前期実績	6.8	79.5	13.7	D.I. ▲6.9
当期実績	8.0	74.8	17.2	▲9.2
来期予想	10.7	71.5	17.8	▲7.1

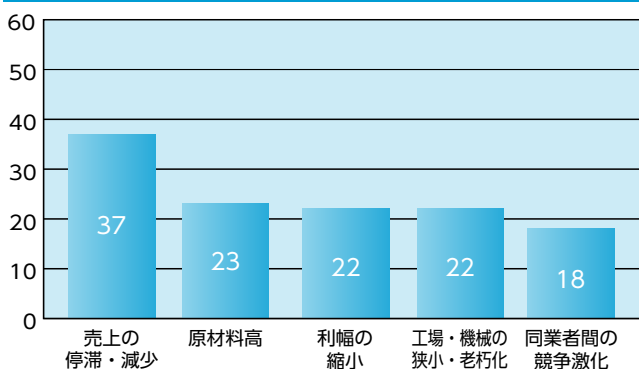
当期実績…26年10～12月期
来期予想…27年 1～3月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

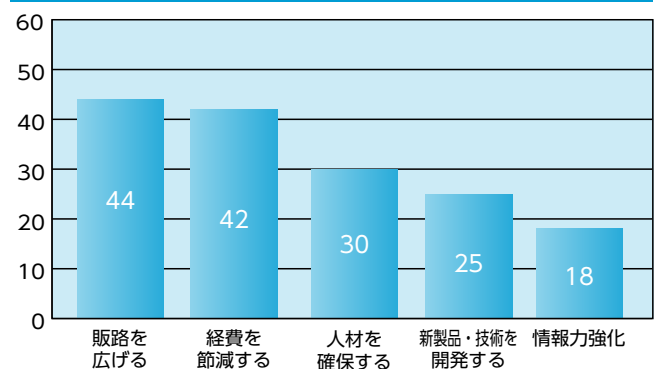
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



卸売業

概況

卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 4.3 ポイント改善の 4.3 となりました。

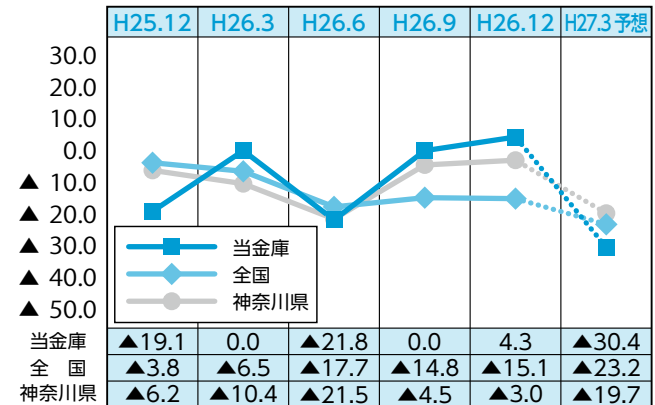
項目別では、売上額 D.I. は前回 21.7 ポイント改善の 21.7、収益 D.I. も 21.7 ポイント改善の 21.7 となっております。引き続き業況が堅調な建設業への建材卸を中心に業況を牽引しているほか、食品卸等における季節需要の取り込みにより業況改善となっております。

一方、売上増加は、一時的な資金繰りの悪化を招くことがあり、今回調査においても 8.7 ポイント悪化の▲17.4 となっていることから、徹底した資金管理が重要となっております。

なお、全国は 0.3 ポイント悪化の▲15.1 となっており、神奈川県は 1.5 ポイント改善の▲3.0 となっております。

来期の予想業況判断については、34.7 ポイント悪化の▲30.4 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	30.4	39.2	30.4	D.I.	0.0
当期実績	43.4	34.9	21.7		21.7
来期予想	17.3	61.0	21.7		▲4.4
前年同期比	39.1	39.2	21.7		17.4

販売価格

前期実績	13.0	78.4	8.6	D.I.	4.4
当期実績	21.7	74.0	4.3		17.4
来期予想	8.6	87.1	4.3		4.3

在庫

前期実績	13.0	82.7	4.3	D.I.	8.7
当期実績	13.0	78.4	8.6		4.4
来期予想	8.6	87.1	4.3		4.3

人手

前期実績	4.3	78.4	17.3	D.I.	▲13.0
当期実績	4.3	65.3	30.4		▲26.1
来期予想	4.3	74.0	21.7		▲17.4

収益

前期実績	30.4	39.2	30.4	D.I.	0.0
当期実績	43.4	34.9	21.7		21.7
来期予想	17.3	52.3	30.4		▲13.1
前年同期比	34.7	30.6	34.7		0.0

仕入価格

前期実績	21.7	69.7	8.6	D.I.	13.1
当期実績	34.7	65.3			34.7
来期予想	21.7	78.3			21.7

資金繰り

前期実績	13.0	65.3	21.7	D.I.	▲8.7
当期実績	8.6	65.4	26.0		▲17.4
来期予想	69.6	30.4			▲30.4

設備状況

前期実績	4.3	87.1	8.6	D.I.	▲4.3
当期実績	4.3	87.1	8.6		▲4.3
来期予想	4.3	87.1	8.6		▲4.3

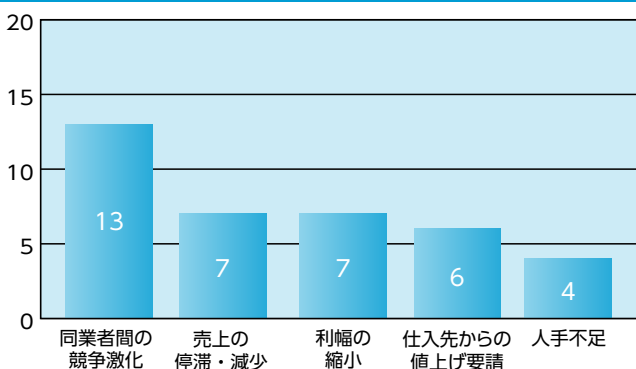
当期実績…26年10～12月期
来期予想…27年1～3月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

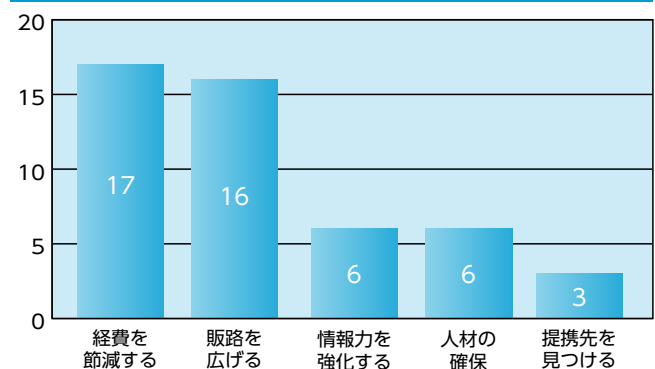
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

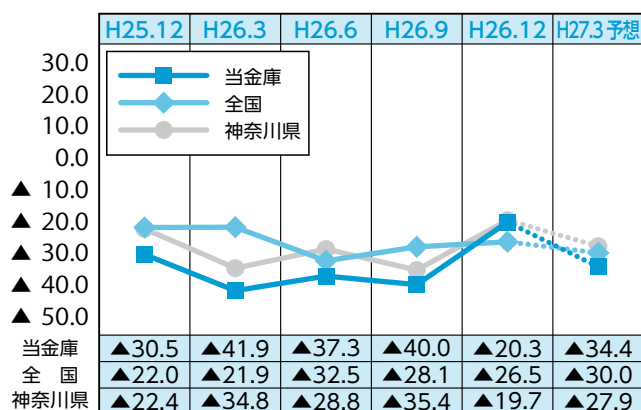
概況

小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査から 19.7 ポイント改善の▲20.3 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 24.4 ポイント大幅改善の 3.2 と調査開始以降、初めてプラス域に改善いたしました。収益 D.I. は 24.2 ポイント改善の▲4.6 となっており、資金繰りも 5.2 ポイント改善の▲26.6 となっております。年末に向けて需要の最盛期を迎えることから業況判断は改善しているものの、常に大手資本との競争を余儀なくされる小売・飲食業にとって継続的な改善に至ると考えている経営者は少なく、来期の予想業況判断は 14.1 ポイント悪化の▲34.4 と予想されております。

なお、全国は 1.6 ポイント改善の▲26.5、神奈川県は 15.7 ポイント改善の▲19.7 となっており、神奈川県内の業況判断は全国に比べ比較的好調となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	24.2	30.4	45.4	D.I. ▲21.2
当期実績	32.8	37.6	29.6	3.2
来期予想	15.6	37.6	46.8	▲31.2
前年同期比	31.2	32.9	35.9	▲4.7

販売価格

前期実績	16.6	77.4	6.0	D.I. 10.6
当期実績	20.3	65.7	14.0	6.3
来期予想	10.9	78.2	10.9	0.0

在庫

前期実績	19.6	74.4	6.0	D.I. 13.6
当期実績	20.3	78.2	1.5	18.8
来期予想	9.3	84.5	6.2	3.1

人手

前期実績	6.0	59.2	34.8	D.I. ▲28.8
当期実績	6.4	67.8	25.8	▲19.4
来期予想	8.0	63.0	29.0	▲21.0

収益

前期実績	18.1	35.0	46.9	D.I. ▲28.8
当期実績	25.0	45.4	29.6	▲4.6
来期予想	12.5	42.2	45.3	▲32.8
前年同期比	21.8	34.5	43.7	▲21.9

仕入価格

前期実績	50.0	50.0		D.I. 50.0
当期実績	50.0	42.2	7.8	42.2
来期予想	28.1	62.6	9.3	18.8

資金繰り

前期実績	6.0	56.2	37.8	D.I. ▲31.8
当期実績	4.6	64.2	31.2	▲26.6
来期予想	7.8	65.7	26.5	▲18.7

設備状況

前期実績	4.5	78.9	16.6	D.I. ▲12.1
当期実績	4.8	77.5	17.7	▲12.9
来期予想	3.2	77.2	19.6	▲16.4

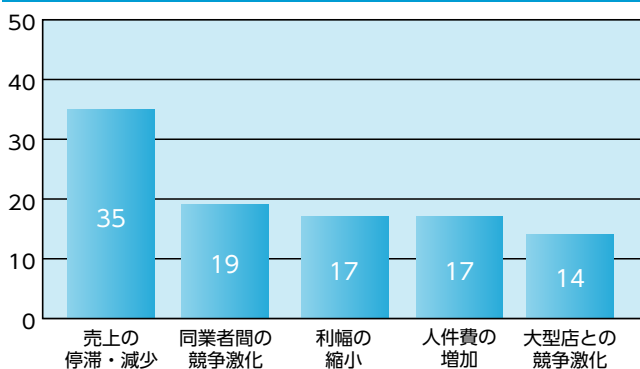
当期実績…26年10～12月期
来期予想…27年1～3月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

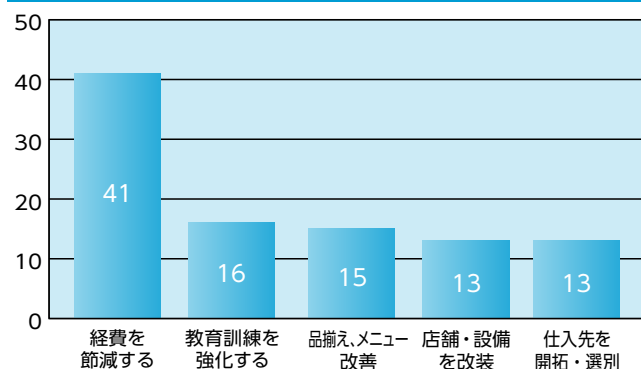
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

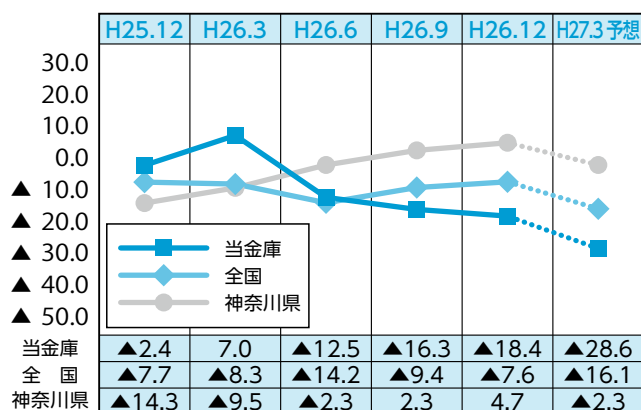
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 2.1 ポイント悪化の▲18.4 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 10.2 ポイント改善の 8.2、収益 D.I. は 12.3 ポイント改善の 6.2 となっており、仕入・原材料価格は 32.7 ポイントと高止まりを見せております。サービス業においては、調査企業の業態が多岐にわたることから画一的な判断は難しいものの、今回調査においては、季節的需要による売上・収益の改善を一過性の改善と見る経営者が多く、人件費、燃料光熱費等の経費増大による押し下げ効果等により景況感は悪化したものと思われます。

なお、全国は 1.8 ポイント改善の▲7.6 となっており、神奈川県は 2.4 ポイント改善の 4.7 となっております。

また、来期の予想業況判断は 10.2 ポイント悪化の▲28.6 と予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	30.6	36.8	32.6	D.I. ▲2.0
当期実績	32.6	43.0	24.4	8.2
来期予想	18.7	50.1	31.2	▲12.5
前年同期比	30.6	36.8	32.6	▲2.0

料金価格

前期実績	8.1	81.7	10.2	D.I. ▲2.1
当期実績	2.0	85.8	12.2	▲10.2
来期予想	6.2	85.5	8.3	▲2.1

資金繰り

前期実績	6.1	57.2	36.7	D.I. ▲30.6
当期実績	4.1	60.5	35.4	▲31.3
来期予想	6.3	61.8	31.9	▲25.6

設備状況

前期実績	73.5	26.5	D.I. ▲26.5
当期実績	4.0	69.5	▲22.5
来期予想	4.0	69.5	▲22.5

収益

前期実績	28.5	36.9	34.6	D.I. ▲6.1
当期実績	30.6	45.0	24.4	6.2
来期予想	18.7	50.1	31.2	▲12.5
前年同期比	26.5	36.8	36.7	▲10.2

材料価格

前期実績	44.6	51.2	4.2	D.I. 40.4
当期実績	36.7	59.3	4.0	32.7
来期予想	27.0	68.9	4.1	22.9

人手

前期実績	8.1	51.1	40.8	D.I. ▲32.7
当期実績	8.3	58.4	33.3	▲25.0
来期予想	10.4	50.1	39.5	▲29.1

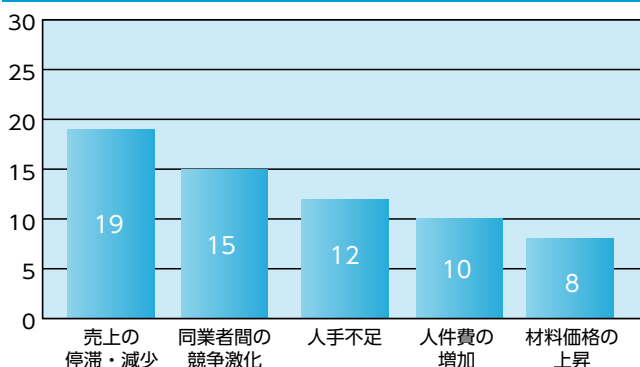
当期実績…26年10～12月期
来期予想…27年1～3月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

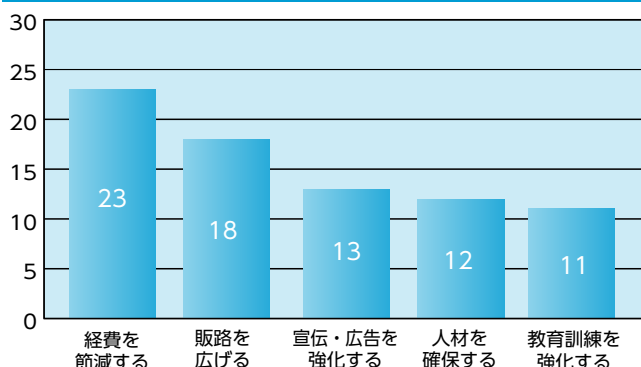
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

建設業の業況判断D.I.は前回調査比3.8ポイント悪化の15.2となりました。

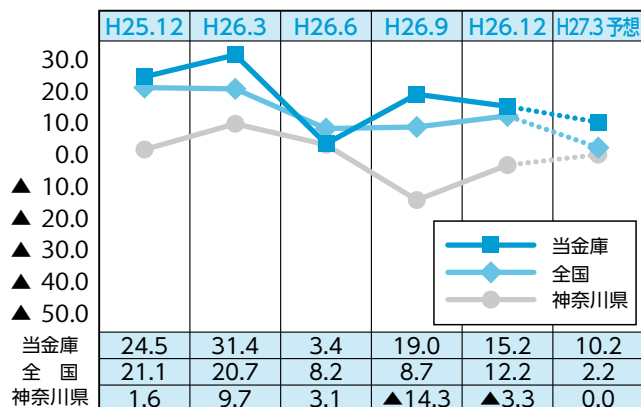
項目別では、売上額D.I.は前回調査比から18.4ポイント大幅改善の32.2、収益D.I.は、ほぼ横ばいの8.5、資金繰りは、6.8ポイント改善の1.7と調査開始以降、初めてプラス域に改善しております。

建設業においては、慢性的な人手不足や高止まりを見せている建築資材等の課題を継続的に抱えているものの、堅調に推移している売上を背景に資金繰りの安定が見られる等、業況は総体的に良好であります。

なお、全国は3.5ポイント改善の12.2となっており、神奈川県は11.0ポイント改善の▲3.3となっております。

来期の予想業況判断は5.0ポイント悪化の10.2と予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

前期実績	36.2	41.4	22.4	D.I. 13.8
当期実績	44.0	44.2	11.8	32.2
来期予想	30.5	50.9	18.6	11.9
前年同期比	54.2	25.5	20.3	33.9

請負価格

前期実績	17.5	66.8	15.7	D.I. 1.8
当期実績	16.9	67.9	15.2	1.7
来期予想	15.2	71.3	13.5	1.7

在庫

前期実績	3.4	96.6		D.I. 3.4
当期実績	6.7	91.7	1.6	5.1
来期予想	5.0	91.7	3.3	1.7

人手

前期実績	1.7	62.1	36.2	D.I. ▲34.5
当期実績	1.6	52.7	45.7	▲44.1
来期予想		57.7	42.3	▲42.3

収益

前期実績	27.5	53.6	18.9	D.I. 8.6
当期実績	23.7	61.1	15.2	8.5
来期予想	13.5	74.7	11.8	1.7
前年同期比	38.9	39.1	22.0	16.9

材料価格

前期実績	64.9	33.4	1.7	D.I. 63.2
当期実績	47.4	52.6		47.4
来期予想	44.0	56.0		44.0

資金繰り

前期実績	15.5	63.9	20.6	D.I. ▲5.1
当期実績	13.5	74.7	11.8	1.7
来期予想	11.8	76.4	11.8	0.0

設備状況

前期実績	98.3	1.7		D.I. ▲1.7
当期実績	3.3	91.7	5.0	▲1.7
来期予想	1.6	95.1	3.3	▲1.7

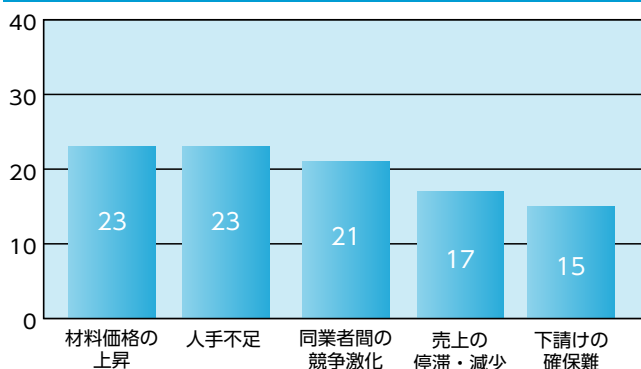
当期実績…26年10～12月期
来期予想…27年1～3月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

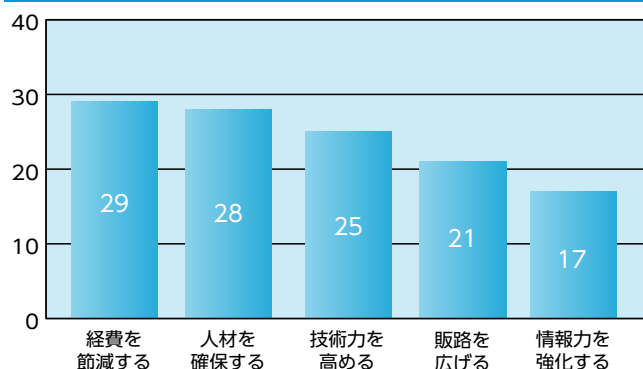
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

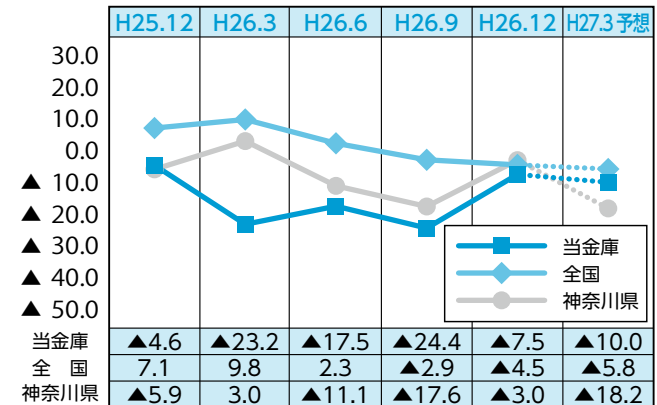
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 16.9 ポイント改善の▲7.5 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 17.0 ポイント改善の▲5.0、収益 D.I. は 19.4 ポイント改善の▲5.0、資金繰りは 7.0 ポイント改善の▲12.5 となっております。秦野・伊勢原地区は物件の動きが鈍いことから、厚木・海老名・相模原等の県央地区や湘南地区に物件を求めていく動きが見られます。また、収益物件においては、インターネット環境の整備やセキュリティー強化等の積極的な差別化策により空室率の低減を講じている企業もあります。

なお、全国は 1.6 ポイント悪化の▲4.5 となっており、神奈川県は 14.6 ポイント改善の▲3.0 となっております。

また、来期の予想業況判断は、2.5 ポイント悪化の▲10.0 と予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	17.0	44.0	39.0	D.I. ▲22.0
当期実績	20.0	55.0	25.0	▲5.0
来期予想	20.0	70.0	10.0	10.0
前年同期比	20.0	40.0	40.0	▲20.0

販売価格

前期実績	-2.4	68.4	29.2	D.I. ▲26.8
当期実績	-10.0	60.0	30.0	▲20.0
来期予想	-5.0	77.5	17.5	▲12.5

在庫

前期実績	17.0	48.9	34.1	D.I. ▲17.1
当期実績	22.5	52.5	25.0	▲2.5
来期予想	12.5	67.5	20.0	▲7.5

人手

前期実績	-7.5	67.5	25.0	D.I. ▲17.5
当期実績	-2.5	80.0	17.5	▲15.0
来期予想	-2.5	80.0	17.5	▲15.0

収益

前期実績	14.6	46.4	39.0	D.I. ▲24.4
当期実績	20.0	55.0	25.0	▲5.0
来期予想	20.0	70.0	10.0	10.0
前年同期比	25.0	32.5	42.5	▲17.5

仕入価格

前期実績	-9.7	70.8	19.5	D.I. ▲9.8
当期実績	17.5	75.0	7.5	10.0
来期予想	15.0	80.0	5.0	10.0

資金繰り

前期実績	-2.4	75.7	21.9	D.I. ▲19.5
当期実績	-7.5	72.5	20.0	▲12.5
来期予想	-10.0	72.5	17.5	▲7.5

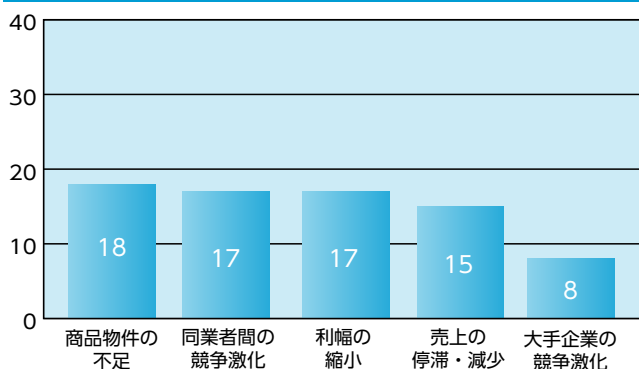
当期実績…26年10～12月期
来期予想…27年 1～3月期

良い、増加、上昇
過剰、楽

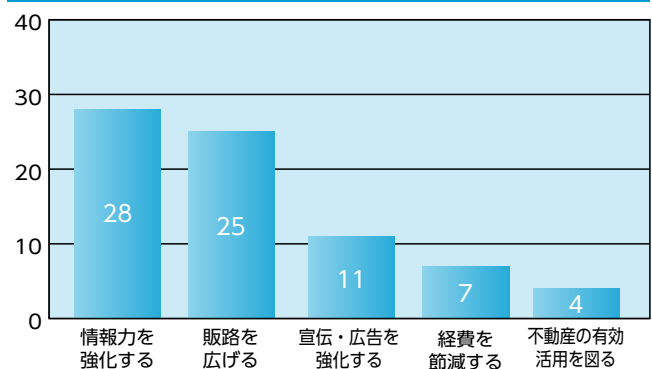
普通、変わらず
適正

悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)

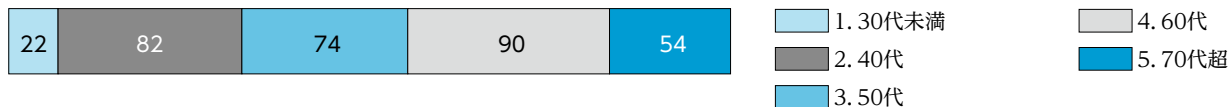


当面の重点経営施策 (複数回答)

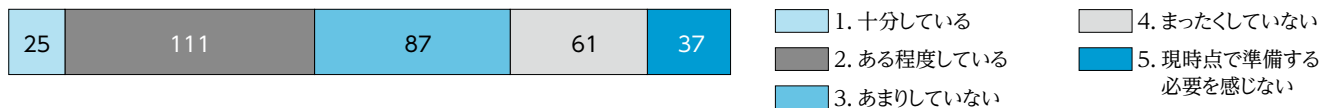


当金庫のお客様 331 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問 1. 貴社の代表者の年齢について次の 1 ～ 5 の中からお答えください。



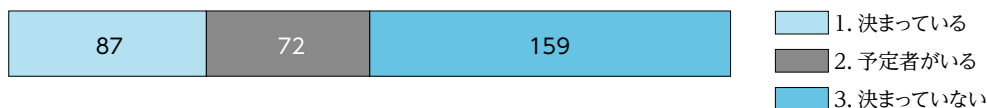
問 2. 貴社では、事業承継の準備をしていますか。次の 1 ～ 5 の中からお答えください。



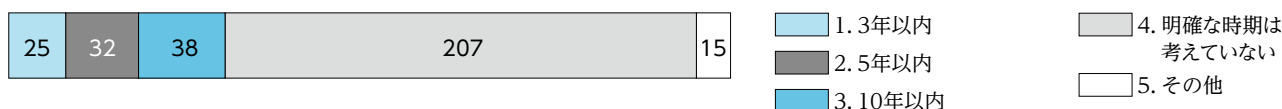
問 3. 貴社では今後の事業承継をどのようにお考えですか。次の 1 ～ 6 の中からお答えください。



問 4. 現在、後継者はお決まりですか。次の 1 ～ 3 の中からお答えください。



問 5. 事業承継の時期について次の 1 ～ 5 の中からお答えください。



問 6. 事業承継にあたって問題となりそうなことは何でしょう（あてはまるものを3つお選びください）

1. 後継者を確保すること	94 社	5. 相続税・贈与税の負担	61 社
2. 後継者の教育	174 社	6. 従業員からの支持・理解を得ること	67 社
3. 株式の移転	41 社	7. 取引先との関係維持	99 社
4. 事業用不動産の移転	24 社	8. その他	11 社

問 7. 事業承継について知りたい情報は何か。（あてはまるものを3つお選びください）

1. 税制面に関する情報	121 社	5. 登記(会社登記・不動産登記等)に関する事項	32 社
2. 相談先・セミナー等の情報	45 社	6. 取引先対応について	67 社
3. 行政等の支援施策に関する情報	64 社	7. 金融機関対応について	58 社
4. 事業承継計画書の作成方法	48 社	8. その他	23 社

事業承継センター(株)との包括的事業提携について

事業承継は全ての会社にとって必ず訪れる重要な課題であります。経営者の皆様にとってご自身の“分身”とも言える会社を未来永劫存続させるためには早期から計画的に準備する必要があります。

当金庫では、現在、社会的に問題となっている事業承継支援の強化を図るため、事業承継の専門コンサルタントとして著名な事業承継センター株式会社（東京都港区）と包括的事業提携契約を締結いたしました。これにより事業承継に対する漠然としたお悩みはもちろん、専門的な事業承継計画の策定から実行支援までをワンストップで対応させていただきます。詳しくは、お近くの営業店または下記までお気軽にご相談ください。

ご相談先：中栄信用金庫 地域支援部 TEL：0463-81-1852